

# 防コミの歩き方

BOSAI  
KOBE  
MIRAI

## 自分たちの町は自分たちで守る

### ●日頃の取り組み

上野防災福祉コミュニティは、平成元年6月に上野自主防災推進協議会として発足して以来、放水訓練に力を入れ取り組んできました。

灘区上野地区には、現在4カ所の防火水槽が設置されていますが、それだけでは水槽から遠方の地域を守ることはできません。そこで、私たちが考案したのは、簡易水槽2基と小型動力ポンプ2台を使用したバケツリレーです。

防火水槽から小型動力ポンプで汲み出した水を簡易水槽に入れ、その水をバケツリレーで、火元近くに設置した簡易水槽まで運びそこから、小型動力ポンプで消火する方法です。

今年で23回目を数える「上野地区たそがれ防災訓練」などでこの方法を徹底して訓練をしています。

また、JICA（国際協力機構）研修生も積極的に受け入れており、防コミの訓練に参加していただく時は、いつも以上に気持ちが引き締まります。

### ●女性放水隊

災害は、いつ発生するかわかりません。

サラリーマン世帯が多い当地区では、昼間に災害が発生した際は、留守を預かる女性が町を守らなければいけません。

そのために、当防災福祉コミュニティでは、女性で編成された「女性放水隊」を結成し、毎月第2日曜日の早朝から正午までポンプ操

法訓練を実施しています。

その成果もあり、今では消防団員と技を競うまでに成長し、いつ起こるかわからない災害に備えています。

### ●今後の取り組み

このように防災面の取り組みは、万全を期していますが、これからは福祉面に力を入れていきたいと考えています。

当地区でも高齢者の割合が増えてきていますが、災害が発生した時の支援体制は十分ではありません。

プライバシー情報の保護が重視される世情ですが、要援護者対策にも積極的に取り組むことができるように、区役所などの行政機関と一層の連携を取っていきたくと考えています。

どんなに訓練をおこなっても大自然の威力には太刀打ちできませんが、日頃の訓練を通して自分の身は自分で守り、自分たちの町は、住民が力を合わせて守る「自助・共助」をスローガンに、これからも地域の安全の確保に頑張り続けようと思っております。

（上野防災福祉コミュニティ会長 森原武子）

